

イメージセグメントアーカイバー

ワークフローとは

イメージセグメントアーカイバーはOnBaseドキュメントイメージングへのアドオンモジュールで、ユーザーはドキュメントの一部を選択し、その選択部分を別のドキュメントとしてOnBaseにインポートできます。ユーザーは、複数のアカウント情報や記録が含まれた連結した請求伝票などをスキャンできます。分割されていない場合、これらのドキュメントは大きくなり、必要な特定の記録を検索するのに相当の時間がかかります。

1つの大きな記録を別々のドキュメントとして分割すると、検索速度をスピードアップでき、必要な記録だけを表示できます。

どのように機能するか

ドキュメントはイメージセグメントアーカイバーオプションを使用できるように設定されたキューにスキャンされます。ドキュメントはスキャンされインデックスされると、次のキューに移動し、バッチドキュメントは新しいドキュメントに分割されます。

このキューでは、ユーザーは最初のドキュメントを開いて、ヘッダーとフッター情報を選択します。選択されたヘッダーとフッターは作成された新しいドキュメントに表示されます。ヘッダーおよびフッター部分と各新規ドキュメントの本文は、マウスを簡単にクリックアンドドロップするだけで選択を実行できます。新規ドキュメントが作成されるとアーカイブされたセグメントはハイライトされ、どの部分から新規ドキュメントが作成されたかを部分を表示します。各セグメントがハイライトされると、ユーザーにインポートダイアログボックスが表示され、後に検索するのに使用される適切なキーワード値を入力するように促します。またユーザーはすべてのセグメントを選択し、インデックスする新しいドキュメントのバッチを作成することもできます。

各新規ドキュメントは、オリジナルドキュメントから本文の部分を選択し、それから作成されます。選択されたヘッダーおよびフッター情報は各ドキュメントに表示されます。

だれが利用できるか

イメージセグメントアーカイバーは、イメージドキュメントを部分ごとに分割し、新規ドキュメントとして保存する必要がある企業には非常に有効なモジュールです。

技術的特長

- 連結したドキュメントを分割し、複数の個別の記録ドキュメントとして保存できる
- オリジナルのイメージドキュメントからヘッダーおよびフッター情報を継承する
- OnBaseドキュメントイメージングモジュールと組み合わせ可能
- イメージのセグメントを選択し簡単にクリックアンドドロップするだけで新規ドキュメントが作成可能

ビジネス利点

- 個別の記録ドキュメントを素早く検索できる
- 必要な記録情報のみを含むドキュメントを共有できる

システム要件

- Pentium PC – 500Mhz以上
- EISA, PCIまたはMicro Channel architecture
- 128 MB RAM
- 200 MB HD
- Windows 98, NT, 2000またはXP
- 対応するSQLデータベース (SQLサーバ 7/2000, Oracle 8+, 8i, 9, 9i, Sybase SQLサーバ 11.5, Sybase SQL Anywhere 5.5.04/7.0.1/8.0)